

240 の将来についての要望と、インターネットの活用

JJ1SXA/池

240 グループの活動も歴史を重ね、今年の忘年会は第27回、来年の1月16日で、満27年となります。

ここでお願いがあります、いつも言っている事なのですが、「より強く、より遠く」「紳士的」についてと、「240の将来」についてです。

「より強く、より遠く」は、リグを最良に整備、アンテナをきちんと調整し、ノイズ対策を万全に施し、電源をしっかり設備した、誰にも負けないモービルの設備で、この合言葉を達成しようというのが本来の主旨です、アンテナ調整その他を怠って、免許の範囲外のオーバーパワーに頼ったりするのは、本来の主旨では無いことを知しましょう。

そして、「紳士的」であれということ念頭に置き、常識外の言動はしない事が大事です。(常識と思っていたことが時代の流れと共に少し変化している場合もあります、常に自分の常識・知識を見直すことも必要でしょう)

その他の要望は、ブレイクタイムを取ることや、バンド混雑時等にサブ周波数に QSY するとか、遠いモービル局優先とか、定時ワッチとかは、余り忘れてもらいたくない事ですし、合議制という事も、グループの永続きの要因であることを知ってもらいたいと思います。(合議制というのは、個人個人で自分勝手な言動はしないということです)

ご存知の筈ですが、現在240に出ている局も、昔からの局、最近になってから初めて参加の局等色々の局が混在しており、近年は、こういうことを知らないとか、知っていたが忘れてる、知っているが守らないといったケースが多いような気がします。

「ローマは一日にしてならず」です、240というところで楽しめるのは、いろいろの事があつたが、その都度皆さんの努力で解決して、現在の240があるということを中心にとどめてもらいたく、聞き飽きたかも知れない話でしょうが、いつまでも240が健全・健在であるように願う気持ちでの話です、ご容赦ください。

然し、過去にしがみついてばかりではいけません、より良くしていくための方策は常に考えるべきでしょう、現代の様変わりの激しいアマチュア無線界で、時流を読むことも大切です、240も世の習いで高齢化が進んでいます、それと共にモービル局が激減しました、運用方法、運用技術も対応していかなければいけないでしょう、そして、いかに新しい局を増やすか、また若年層をどう取り込んでいくかも大きな課題です。

ただその時、240の過去の歴史やいきさつや、永年かけて築いた約束事を理解し、その事を土台にして将来を考えていきましょうというのが、私のお願いです。

私は最近、無線にインターネットの活用に取り組んでいます、インターネットの活用方法としては、移動情報や DX 情報の取得と VoIP 無線の利用に大別されます。

色々批判や意見もありますが、近い将来(既に?)は、いやだ駄目だとは言ってはられない状況です。

批判の大部分は、「事前に、移動地やコール、周波数までの情報を取得してやる QSO が、何で楽しい?」というのがありますが、今や、ダイヤルを回して丹念にワッチして、珍エンティティ、珍市・珍郡を探すなどというスタイルは無理でしょう。

もう一つは「VoIP 無線は無線では無い」ということでしょうか、新技術を学ぶ、便利なものを有効に使うというのは、立派なアマチュア無線の精神だと思います。

無線では無いという人は、無線とは？の質問には何と答えるのでしょうか？原点を探れば、CW なのか、或いは一步譲って AM かと、議論はあるでしょうし、あくまでも無線機とアンテナ以外は一切使わないで、見知らぬ土地のハムと話をするのが無線で、レピーター使用は邪道、VoIP 無線など飛んでも無い、その他諸々、例えば電信は縦振れで無ければいけない、PC のキーボードでの CW は許せないとか、個々の意見はあるでしょうが、現在のアマチュア無線で、ここまです無線と正確に線引きができる明確な結論は出ないのでは無いかと思いますが、いかがでしょう？

移動情報や DX 情報の取得は、インターネットが、430 等のホットラインやパケットに取って代わったし、VoIP 無線も、世界の大多数のハムが認めるどころです。

仕組みや利用方法を知らない、やって見ないでの批判は一寸の外れ、要は使い方、取り組み方の問題だと思います、理解した上で好みに合わなければやらなければ良いだけの話、自分の反対意見が絶対正しいと誤解しないことです。

私が取り組んでいる理由は、パソコンの勉強とボケ防止が主体ではありますが、将来的には、何らかの形で 240 の運用や若年層の取り込みにも役立つのでは無いか？と、密かに思っています、今のところは、実験段階で余り大それたことは出来ませんし、結局は余り役には立たないかも知れませんが・・・

eQSO は、ゲートウエー局として運用しています、240 にリンクしている時は、DX からでも 240 にオンエアーでき、ロールコールのチェックインも可能です。(ロールコール時、キー局の信号が良く聞こえない時の利用も図っています)

Wires は、ノード局(#5037D)として運用していますし、またラウンド QSO ルームの ID(#0616D)も取得しています、ハンディ機を持ち出しての運用時に利用できる他、遠方に出掛けた時、240各局との QSO にうまく利用することもできますし、携帯電話使用不可の場所、例えばロケーションの良い山上での利用等も考慮しています。

リモートシャックは、ゲストオペ運用可になっています、また音声コントロールに Skype を使っていますので、Skype 経由で 240 にオンエアーできます、(携帯電話からの信号をパソコンに取り込んでフォーンパッチ可にしてありますので、携帯電話からでもゲストオペ運用で 240 にオンエアーできます)、今のところリグの遠隔操作は、開放していませんが、将来はクラブ局で免許を受けて、クラブ員としての登録局は、共通のパスワードでリグコントロールも自由にできるようにする予定です。

他にも、echolink と D-Star もかじっています、まだ240への利用方法は具体的には考えていませんが、将来的には何か使い道はあることでしょう。

以前発表した記事に加筆し、内容を訂正したものです。 de JJ1SXA (Dec,2007)